

シルバー人材センター



シンボルマーク

ニュース

ゆんたく

〈発行所〉

公益社団法人 沖縄市シルバー人材センター

〒904-2155 沖縄市美原 3丁目1番1号

電話番号 (098) 929-1361

http://www.okinawasisi.com
7月末現在の会員数627人
(男性358人・女性269人)

自己管理を徹底 「事故ゼロ」 実現を！ 安全・適正就業推進大会 開催

沖縄市シルバー会員の健康と安全を守るため、平成28年度「安全・適正就業推進大会」が7月15日、沖縄市農民研修センターで開催された。

27年度は8件(物損・傷害各4件)の事故が発生、年初の目標「事故ゼロ」は実現しなかった。参加者は143人(昨年は150人)。

大会は浜比嘉宗明さんの司会進行で始まり、理事長の挨拶後、沖縄警察署交通対策課平田健二警部補が「高齢者の交通安全について」と題した講話が続いた。

体験発表では都市公園草刈グループリーダー3人が日頃の体験事例をもとに「就業現場における事故防止対策」について語り、出席した会員に安全の基本姿勢の重要性を訴えた。

最後に「安全・適正就業宣言」が全会一致で採択された。

(2, 3面に連続)



桑江良哲理事長挨拶(要旨)

センター事業を推進していく上で会員の健康は勿論、安全で適正な就業の確保が基本であります。平成27年度の事故件数は8件発生し、26年度より3件増加しております。依然として高い事故発生件数であり、事故ゼロを目指し更なる意識の高揚と事故防止対策に取り組まなければなりません。残念ながら、今年4月から既に1件の事故が発生しております。

事故ゼロを目指し

更なる意識の高揚を

昨年4月から、センター会員の安全就業不履行会員や、事故発生会員に対し、反省を促すことにより事故の未然防止に資する事を目的にペナルティーに関する指針を定めております。一方で会員のための表彰規程(制度)の見直し等組織の活性化を図るべく総務委員会で取り組んでおります。

「安全就業の心得十カ条」の基本ルールとマナーをしっかりと守り、現場においては仲間意識を高め、和気あいあいとした明るい雰囲気の中で、安全第一を心がけ、事故のない日々を送ることを願っております。

な就業の確保を！ 取組みで心は一つ

“安全・適正就業強化月間” 出発式 草刈、公園清掃グループ会員64人参加



「安全・適正強化月間」初日の7月1日、シルバーワークプラザ駐車場に草刈、公園清掃グループの会員64人が集い、出発式を行った。

昨年度発生した事故の反省を踏まえ、今後は「事故ゼロ」を参加者全員で誓い合った（今年度は残念ながら1件発生）。

桑江良哲理事長は「会員及び役員は心を一つにして事故防止対策に取り組んでいこう」と参加者を激励した。



出発式終了後、桑江理事長、又吉綱一副理事長始め安全・適正就業委員会のメンバー（島袋哲行委員長、浜比嘉宗明、玉城テル子、古謝博子各理事）は山内公園及び諸見里公園で就業中の会員と懇談を行った。

島袋委員長は「法面のきつい、または人通りや交通量の多いなど現場に即した安全対策が大事。リーダーの指示や注意事項には十分留意して事故ゼロを目指して頂きたい」と話していた。

「就業現場における事故防止対策」 都市公園草刈Gリーダーが体験発表



「上流の方で大雨の恐れがある。直ちに作業を中止するように」とセンターの担当者から指示があった。幸いこの時は大事に至らずホッとした。現場では天候の判断は難しくセンターと密接な情報交換の大切さを痛感。また、川幅など現場に即した人員配置、梯子の固定安定化等、下水道の草刈作業は注意が必要。

天候には細心の注意を！ 金城一成さん



全国で熱中症と思われる症状で病院に搬送された数は昨年の同時期に比べ、今年は3倍以上との報道があった。水、おしぼり等を十分に用意、ちょっとした体調に異変を感じたらリーダー、同僚に告げ早めに対処する事。グループは一つの家族。自己判断せず横の強い繋がりを信じよう。今後も事故ゼロを目指す。

熱中症対策は万全に！ 新里勝美さん



刈払機を使っている作業者は草刈に気持を集中しているため、周囲には目が届かない。ネットを張ってる人が周囲によく目を配らせ、人・車の通行、小石の飛ぶ方向を確実に認識しネットの位置を十分に配慮しながら俊敏な動作が求められる。ネットを持っている人の仕事は安全上大変重要であることを訴えたい。

ネット使い手の役割は大きい！ 諸喜田茂一さん

“安全・適正就業宣言” 全会一致で採択

健康と安全で適正 強化月間中多様な

私たち沖縄市シルバー人材センターは、日頃の就業を通じ、会員自らの健康と喜び、生きがいや社会参加が得られることを目指しています。特に、「安全・適正就業」は何よりも優先すべきものであります。ところが、昨年度（平成27年度）の事故件数は8件発生し、一昨年度（平成26年度）に比べ3件の増加となっています。依然として多い事故発生状況であり誠に残念でなりません。事故の状況分析の結果、ついうっかり、油断して、ということが主な原因であり、そのほとんどが防止できる事故であります。

この厳しい社会・経済状況の中、このような就業事故が多発していることで、センターの信頼を失い、就業の機会を失うことにもなりかねません。私たちは、就業手順の基本ルールを守り、会員一人ひとりの自己管理と安全・適正就業を実践しなければなりません。本日ここに新たな決意のもと、無事故就業を積極的に推進し、地域社会から信頼されるシルバー人材センターを築くことを本大会において宣言する。

平成28年7月15日
安全・適正就業推進大会

公益社団法人 沖縄市シルバー人材センター

人材センター

講演

「歩行中でも身の危険」



沖縄警察署
交通対策課
警部補 平田 健二氏

平成27年中に沖縄県内で起きた人身事故発生件数は5518件（内、死亡41人、重傷552人、軽傷5971人）で毎日15件の人身事故が発生している。また、高齢者（65歳以上）の死者数は15人で全体の36・6%を占めている。全国的にも交通事故による死者数は減少傾向にあるものの、65歳以上の割合は年々増加している。しかも5割近くが歩行中の事故で亡くなっている。

「歩いていて事故に遭うわけがない」何てことは思わないでください。危険はどこにも潜んでいるのです。

高齢運転者のみなさんへ！

高齢者は運転歴も長く自信過剰、身体能力の低下、視力の低下、敏捷性後退等が考えられる。その結果、信号無視、一旦停止等の標識誤認識、ブレーキとアクセルの踏み間違い、ハンドル操作やブレーキを踏むタイミングの遅れ等で出会い頭の衝突、左折時の接触事故、単独事故を引き起こしている。

飲酒運転について沖縄県はここ25年ワーストワンの記録更新中。絶対やめよう！

今日の現場に適したアドバイスを！

石垣市SCの梅本俊雄安全・適正就業委員長は平成24、25年に多発していた事故件数を大幅に改善した事例を発表。その中で「リーダーは、今日の現場に適したきめ細かな注意事項・アドバイスを毎日繰り返し返す事が大切」と訴えた。

“作業前のミーティングが重要” 県連合・安全適正就業推進大会開催



7月6日浦添市てだこホールで開催された県連合安全・適正就業推進大会には当沖縄市SCから、桑江良哲理事長以下、安全・適正就業委員、公園草刈G各リーダー等15人が参加した。

小川労働安全研究所 小川仁所長の講演では、刈払機の見えない危険、有害性について事故に直結する事例をスライドを使って説明。

また、KY（危険予知活動）の重要性を指摘、特に「今日の重点を作業前のミーティングで徹底して頂きたい」と話した。

見えない危険、見えますか？

地区活動

越來・宮里中校地区

夏休み前の安全を守る！
宮里小で下校時パトロール



(写真前列右から) 比嘉賢太さん、高良京子宮里小学校校長、喜友名春美地域コーディネーター、租根政秋さん、島袋静子さん、徳永軍一さん、(後列右から) 金城幸彦さん、八幡勝さん、銘苅朝弘地区長、比嘉祥貴さん

越來・宮里中校地区(銘苅朝弘地区長)は夏休み前の児童を守ろうと7月13日、県警職員と合同で宮里小の下校時安全パトロールを行った。沖縄警察署防犯アドバイザー支援要員の比嘉賢太さん、比嘉祥貴さんも6人の会員と一緒に地区内をパトロール。
高良京子宮里小学校校長は「シルバーの方々に子ども達の安全を守っていただき本当に感謝しています」と謝意を述べていた。



毎週水曜日に各中校地区で実施している「下校時安全パトロール」への参加会員が減少している状況にあります。「下校時安全パトロール」については、センター会員の活動をアピールする重要な取り組みとなっています。多くの会員の参加をお願いします。

◎下校時安全パトロールへの参加について

南部視察研修ピクニックへ



斉場御獄では自由行動となったため、全員集合はできませんでした。(写真上)。楽しい食事会では他地区との交流会も行われ、和気あいの雰囲気。(写真下)

越來・宮里中校地区・他地区との合同南部視察研修が7月24日、20人(うち他地区から7人)が参加して行われた。一行は、「福州園」で壮大な庭園を散策後、糸満市観光農園で楽しい食事懇親会を行った。午後は霊場斉場御獄で記念撮影。「個人では行く機会が少なく、いいチャンスと思いを加しました。楽しい一日でした」と女性参加者は話していた。



コザ小 草刈ボランティアに5人参加 「夏まつり」前に父母達と合同で



(写真右から) 島尻順子コザ小学校校長、森竹邦良さん、佐久田清子さん、久場キクさん、比屋根正一さん、新里勝美さん

コザ中校地区

コザ小学校(島尻順子校長)の草刈清掃ボランティアが炎天下の7月16日、行われた。

この日は、父母達が夏祭りに備え草刈を行うとのことと、急ぎよ5人の会員がお手伝いに参加した。「猛暑の中、ご協力いただき大変感謝しています」と島尻校長は5人をねぎらった。

当センターが行っている毎年恒例の草刈清掃ボランティアは9月3日(土)8時30分から行います。草刈機をお持ちの方は是非お持ちください。多くの参加をお待ちしています。



(写真前列右から) 金城三夫さん、喜屋武進さん、與儀豊さん、宮里澄子さん、伊禮フミさん、比嘉トシさん、砂川長昭さん(後列右から) 城間穰二さん、檜原教宏さん、名幸正利さん、外間政廣さん、棚原盛一さん、金城一成リーダー、奥原啓三さん、金城友道さん

「さくらんぼ種飛ばし大会」 会員16人がボランティア参加

「さくらんぼ種飛ばし大会」(沖縄市商店街を元気にする会)が6月18日、一番街商店街で開催され、子ども達など218人が記録に挑戦した。今回の記録は壮年男子の部で14m52cm、レディースの部は9m48cm、子どもの部で6m17cm。日本記録は17m83cm。

この催しに多くの見物客が訪れ、当センター公園草刈第2グループ(金城一成リーダー)15人が混雑する会場で来場者案内のボランティア活動を行った。

シルバー人材センターをPR 市役所ロビーで入会相談

急速な超高齢社会が進展する中、シルバーセンターの社会的役割は大きい。だが、その一方で会員数の減少傾向に歯止めが利かない状況が続いている。当センターは「普及啓発活動」を活性化させようと6月14日、市役所ロビーの一部で「入会促進、シルバー人材センター案内、入会相談」窓口を開設した。

当日はあいにくの大雨に見舞われ来庁者が少なく、それでも50〜60代の男女9組が窓口で、サポート事業担当上江洲勝さん、森竹邦良さんの説明に聞き入っていた。



相談窓口には、就業に関心を持つ一方、各種同好会に興味を示す方も見られた。今回は初めての試みであり、今後継続して実施していきたいとサポート事業担当者は話す。



高吉満広さん、上間正信さん、島袋弘幸さん、平良長信さん、島袋幸太郎さん、仲村健さん、山内鉄夫さん、長堂正雄さん達によって、日日草、マツバボタソ、アメリカンブルー、ペチュニア、メランポジウム、アンゲロニアの6種の苗が植えられた。

尚、植付け後の水やり、雑草取り等の管理は稲嶺清子さんが行っている

コザ十字路広場がさらに明るく！
草花植栽ボランティアに8人



地域会員相互の交流、センターの依存を広く地域社会に周知する普及活動をと、市花いっぱい推進運動と連携してコザ十字路広場に6種の草花の苗が植えられた。昨年12月に続いて2回目。植付けにボランティア参加したのは当センター会員の8人。苗が根付いて大きな花の輪ができるのが楽しみです。

第5回
理事会

新たに2委員会新設
組織の強化を図る

第5回理事会が7月22日、シルバーワークプラザ会議室で開催された。

議案第1号「正会員の入会」については、4人(男性2人・女性2人)承認された。その結果承認後の会員数は627人(男性358人・女性269人)となった。尚、6月の退会者数は無し。

議案第2号「専門委員会設置規程の見直し」については、現在の「総務委員会」「安全・適正就業委員会」の2委員会から、新たに会員の増強に関する事や就業の拡大・創出を目指す「就業拡大委員会」と就業基準に関する要綱や就業不履行会員等に対する措置に関する事を担う「就業審査委員会」を新設、4委員会での組織の強化、活性化を図る。

平成28年6月の主な実績では、会員数623人で前年の減(▲4%)、就業実人員398人で前年と同じ、就業延人員4449人で9人の増、配分金約2111万円で約69万の増、契約金額約2565万円で約16万円の増となった。(いずれも対前年同月比)
最後に当面の日程が確認された。

「見逃すなヒヤリで済んだあの経験」
全国統一スローガン

新入会員紹介

7月22日付で4人(女性2人・男性2人)が新会員として入会しました。地区の皆さんよろしく。

- 原田 良子 (安慶田中校地区)
- 真喜志 康栄 (安慶田中校地区)
- 吉部 豊喜 (コザ中校地区)
- 宮城 房子 (美東・東中校地区)

刈払機取扱作業者に対する
安全衛生教育のお知らせ

技術・技能及び
安全面の向上を目指す

- 開催日 平成28年8月31日(水)
午前9時～午後4時
- 場所 シルバーワークプラザ大会議室
- 参加希望者は8月29日(月)までに事務局へお申し込みください。
- 参加人数によっては翌月に繰越しとなる場合があります。予めご了承ください。

無事故記録

平成28年5月14日
28年7月25日現在

73日

こんな人が転びやすい!

肥満傾向の人：肥満度をチェック

BMI=体重(kg)÷身長(m)÷身長(m)

BMI=20%未満(やせ) 20~22%(普通)

24~26.4%(やや肥満) 26.4%以上(肥満)

【目標は22%】

筋力が弱い人：健脚度をチェック(下図参照)

① 最大一步幅(年代別平均値)

65~69歳 男:111cm 女:97cm

70~74歳 男:107cm 女:93cm

75~79歳 男:99cm 女:84cm

80~84歳 男:89cm 女:76cm

② 10m最大全力歩行:7秒以内目標

65~69歳 男:5.4秒 女:5.7秒

70~74歳 男:5.9秒 女:6.4秒

75~79歳 男:6.3秒 女:8.0秒

80~84歳 男:7.8秒 女:10.4秒



新城かな子
中部徳洲会病院
理学療法士

健康講話

ケガをしない身体を作ろう! ① 転倒予防

高齢者(65歳以上)の寝たきり原因の第1位は脳卒中中、第2位が転倒等による骨折・外傷、第3位が痴呆。ここ10年間、脳卒中の確率は横ばいに対し、骨折・外傷は1.5倍に増えている。なぜ転倒してしまうのか? 20歳代をピークに加齢

に伴い、筋力は減少しピーク時を100とするると、60歳・70歳では50%まで減少します。このコーナーでは転倒予防対策を3回シリーズで掲載します。ぜひ実践をしてケガをしない身体作りに挑戦してみてください。



①最大一步幅(またぐ)



②10m全力歩行(歩く)



③40cm踏み台昇降(昇って降りる)

・筋力年齢テスト

安定した椅子に座って30秒で何回立ち上がれるかを計測

= 筋力年齢 =

23~25回 ⇒ 40歳代

20~22回 ⇒ 50歳代

18~19回 ⇒ 60歳代

16~17回 ⇒ 70歳代

徳洲会病院内で行われた新城かな子講話より

イラスト制作は新田宗明さん(美里中校地区)

事務局だより

就業相談日のお知らせ

毎週月・水曜日

午前10時~午後4時

シルバーワークプラザ会員研修室

お気軽にご相談ください。

▼ 配分金支払明細書の受け取りについて

毎月20日(20日が休日の場合は前日)は、配分金支払日となっています。配分金明細書は事務局に準備していますので、必ず受け取ってください。

▼ 就業日報を提出しよう

就業日報は、作業が終わり次第、事務局に提出願います。月末まで作業した人は、翌月の1日には提出するようにして下さい。会員番号の誤記入が無いように、もう一度確認願います。

60歳! 人生これから!

シルバー人材センターへ 入会しませんか?

「この歳で働ける!仲間が出来た!孫に小遣いをあげられた!」年をとると実感も時間もユツタリと訪れます。60歳以上、沖縄市在住で健康で働く意欲のある方ならどなたでも歓迎。安全で簡単、軽易な仕事が待っています。ぜひお話を聞きに来てください。

毎日なにも
することがない!
退屈だ!

1週間に**2-3日**
働けたらいいのに!

でも、
きつい仕事は
ムリ!



現在のシルバーでの主な仕事

- 軽い労働
- 家内外の掃除、片付け
- 草刈り、植木の手入れ
- 大工仕事、他
- 一般
- 電話受け付け
- パソコン、スマホ講師
- 宛名、賞状書き
- 訪問介護
- その他いろいろ



編 集

上原 秀雄
東條 正躬
田中 穰
比嘉 操

今年7月25日迄の那覇市の一ヶ月間の最高気温平均は32・51度C(前年は31・53度C)で0・98度C、同じく最低気温平均は27・89度C(同27・16度C)で0・73度Cそれぞれ上昇している。「今年は特に暑いな」の実感もうなずける。熱中症患者も全国的に昨年より大幅に増加しているという。熱中症対策には万全を! 水分、塩分の補給を常に意識し、めまい、吐き気の症状が出たら近くの人に知らせる、救急車を呼ぶなど早めの対処が大切です。

編集後記



8月の予定

- 10日(水) 午前10時 新会員入会説明会
- 23日(火) 午前10時 理事会
- 31日(水) 午前9時〜 刈払機取扱い作業者に対する安全衛生教育